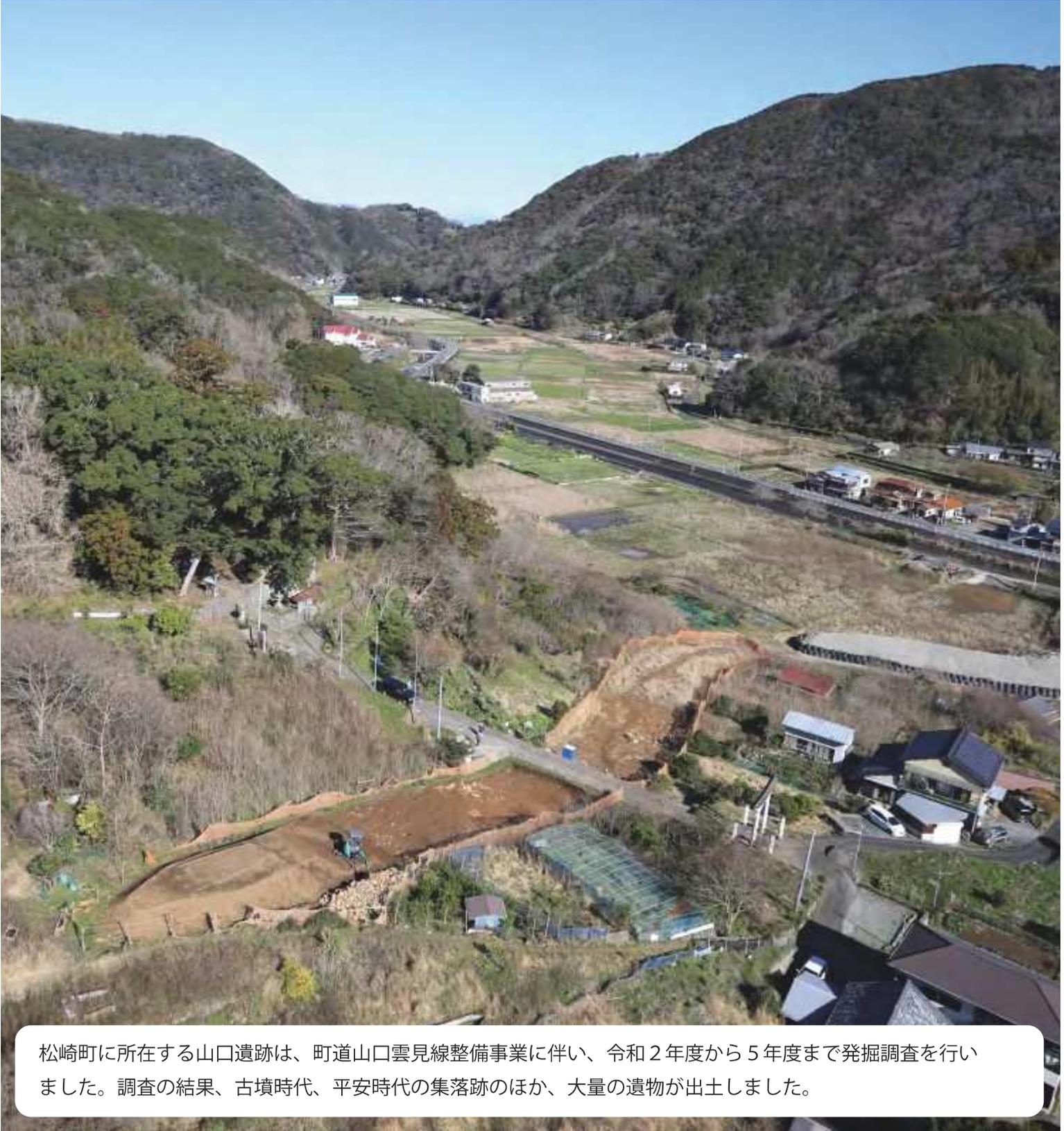


静岡県埋蔵文化財センター

Shizuoka Prefectural Archaeological Center

要 覧

—令和6年度—



松崎町に所在する山口遺跡は、町道山口雲見線整備事業に伴い、令和2年度から5年度まで発掘調査を行いました。調査の結果、古墳時代、平安時代の集落跡のほか、大量の遺物が出土しました。

事務事業の概要

令和6年度静岡県埋蔵文化財センター事業体系

1 基本方針

静岡県には、約9,100箇所におよぶ埋蔵文化財包蔵地（遺跡）が確認されています。

埋蔵文化財は、地域の豊かな歴史と文化を物語る県民の共有財産であり、地域の歴史や文化に対する憧れや知的好奇心を刺激する学習資源でもあります。

当センターは、県民の歴史的・文化的資産である埋蔵文化財を適切に保護し、地域固有の文化に誇りと愛着を持つ県民意識を育て、文化財の価値を未来につなげていくことを目的として、埋蔵文化財の保存と活用に努めていきます。

2 事業の体系

(1) 埋蔵文化財の保存【守る】

- ア 記録保存調査の実施
- イ 調査報告書の発刊
- ウ 出土品の保存修復

(2) 埋蔵文化財の活用【育てる】

- ア 出土文化財の展示
- イ 埋文セミナー、考古学技術体験、体験授業・出前授業等の実施
- ウ 発掘調査現場の現地説明会、遺跡調査報告会
- エ 学校連携・教材化
- オ ムセイオン静岡など他部局・機関との連携

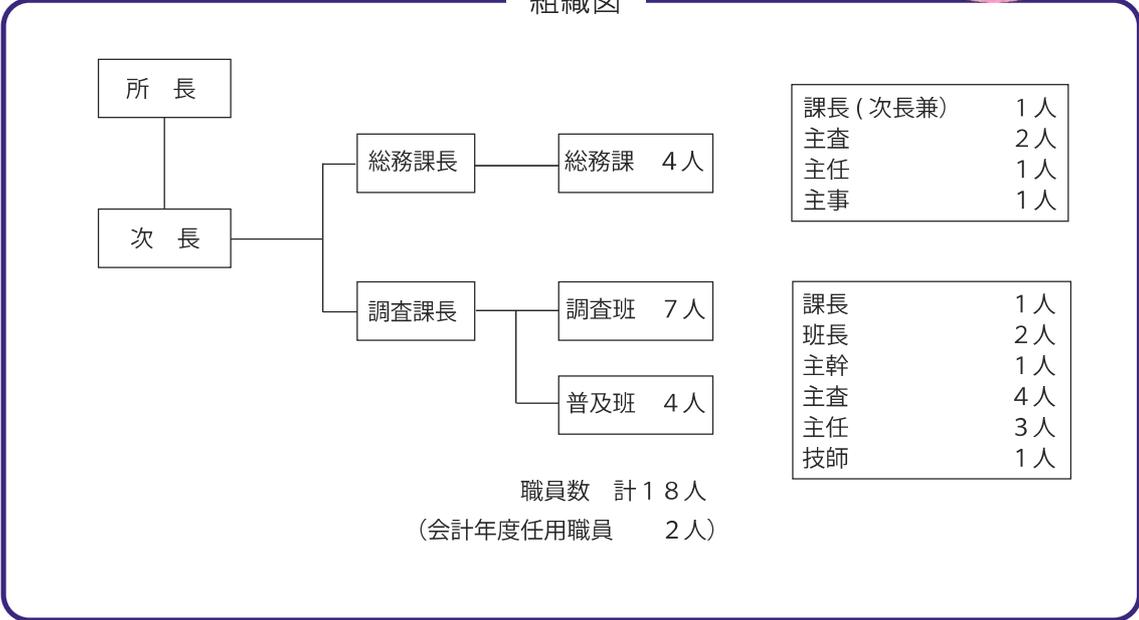
※ムセイオン静岡・・・静岡市駿河区谷田地域と周辺にある静岡県立大学、静岡県立美術館、静岡県立中央図書館、静岡県埋蔵文化財センター、静岡県舞台芸術センター（SPAC）、グランシップ（静岡県コンベンションアーツセンター）、ふじのくに地球環境史ミュージアムの7機関による文化発信自主プログラム

(3) 出土文化財の管理【つなげる】

- ア 発掘調査で記録した写真や図面、出土品の保管・管理



組織図



主な事業内容

発掘調査と文化財の保存

現地の発掘作業から出土品や調査記録の整理作業までを行い、その成果を調査報告書にまとめます。

また、出土した金属製品や木製品を科学的に保存処理します。



発掘調査報告書



発掘作業(大門Ⅲ遺跡)



整理作業



保存処理



現地説明会(上原遺跡)

文化芸術の振興

伝統や歴史に培われた文化財の保護・活用に取り組み、感性豊かな社会の実現を図ります。



常設展示や出張展、発掘調査の現地説明会などを通じて遺跡から出土した文化財を見ることで、ふじのくに静岡の歴史を学ぶ機会を提供します。



センター展示室

体験授業・出前授業、考古学技術体験等を通じて、楽しみながらふじのくに静岡の歴史を学ぶことができます。

また、埋文セミナー、遺跡調査報告会等でふじのくに静岡の歴史を考古学・文化財の専門家がわかりやすく説明します。

聞
いて

文化財の
公開・活用

見
て

触
れて



考古学技術体験



埋文セミナー

フェスタ埋文等での火起こし・勾玉(まがたま)作りなどの体験メニューを通じて古代の暮らしや技術の高さなどを感じる機会を提供します。



体験授業：展示室の見学



フェスタ埋文：火起こし

施設概要



正面（エントランス）

展示室1～3では、旧石器時代から江戸時代までの県内各地の出土品を展示。体験学習室では本物の土器や石器を触ることができます。廊下からは整理作業・保存処理作業が見学可能です。

●センター

〒421-3203 静岡市清水区蒲原 5300-5

電話 / <054>385-5500 (代表)

FAX / <054>385-5506

E-mail

総務課 : maibun_somu@pref.shizuoka.lg.jp

調査課 : maibun_tyosa@pref.shizuoka.lg.jp

ウェブサイト : <https://www.smaibun.jp>

【開館日】平日(12/29～1/3を除く)

毎月第3土曜日

【開館時間】9時30分～16時30分 見学無料

※イベントなどはウェブサイトにて案内しています。



展示室1

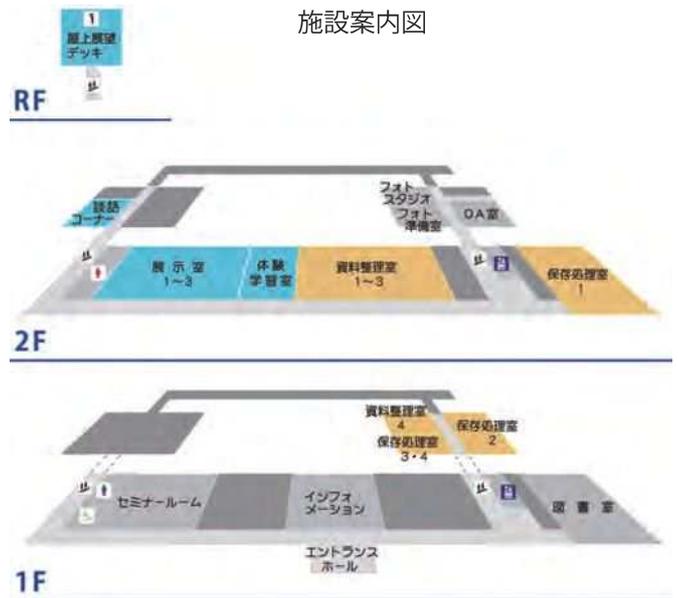


展示室2

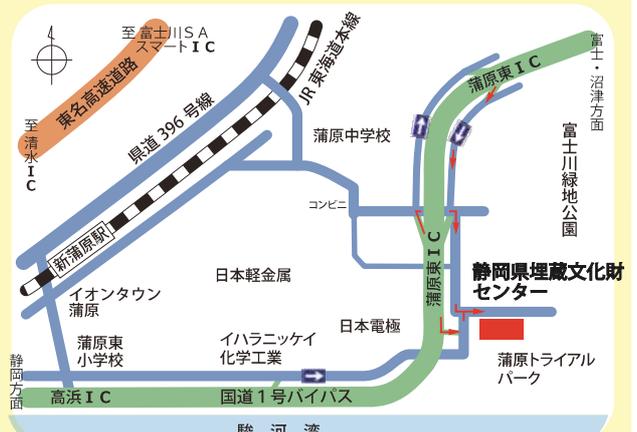


体験学習室

施設案内図



交通アクセス



◆ JR「新蒲原」駅より徒歩で約30分

◆ 車…国道1号線 蒲原東ICより約3分

東名高速道路 富士川スマートICより約15分

